

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	903 いがまち保健福祉センター維持管理経費	会計	01	一般会計
		款	03	民生費
		項	01	社会福祉費
基本	01 10万市民の健康を維持する	目	01	社会福祉総務費
		細目	184	社会福祉施設維持管理経費
行革大綱の重点事項番号	4	細々目	01	いがまち保健福祉センター維持管理経費
担当部署	コード 553000	担当者	45 - 9105	
	名称 伊賀支所住民福祉課	氏名	土田 敏子	連絡先 (内線) 241

事務事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を)	幼児から高齢者までを含む一般市民 子育てサークルや福祉関係団体	※対象件数
成果(どうする)	健康福祉の拠点施設として、市民に身近で利用しやすい施設とする。	
根拠法令・要綱等	いがまち保健福祉センター設置及び管理に関する条例	
開始年度	平成 9 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	
H21 事業内容	施設並びに設備の維持管理(社会福祉協議会に貸与している部分を含む)	
社会情勢の変化等	施設設備の保守点検等を行った際、各種機器類等の対応年数が経過しているものと、迫っているものとの指摘を	

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	27481.00㎡
2 建設面積(延床面積)	3246.51㎡
3 規模・構造	鉄筋コンクリート造り2階建て
4 総事業費	89,265 千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	直営
委託先	
2 配置人員	0.2 人
3 年間運営費	25,869 千円
4 市内の類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
施設内各種教室等利用実績	利用者数	人	目標 13000	目標 13000	17000	17000
			実績 19172	実績 17988		
開館日数	日	日	目標 243	目標 243	243	243
			実績 243	実績 243		

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
利用者延人数	利用者延人数	施設利用に伴う満足度は数値化しにくく、従って利用しやすい施設であれば、利用人員が増加していくものと考えている。	人	目標 18000	目標 18000	18000	18000
				実績 19172	実績 17988		
				目標	目標		
				実績	実績		

投入コスト	H20 決算		H21 決算		H22 当初予算		H23 当初要求	
	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	
直接事業費計(A)	20,444	22,269	24,483	24,483				
Aの財源内訳								
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他	11,813	10,922	11,055	11,000				
一般財源	8,831	11,347	13,428	13,483				
事業投入人件費(B)	0.2 人	1,440	0.2 人	1,440	0.2 人	1,440	0.2 人	1,440
フルコスト(A)+(B)	21,884	23,709	25,923	25,923				

事務事業の評価(Check)

	判断の基準(該当項目に○をつけてください)	備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	○
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	○
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	○
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	○
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	○
	民間のサービスだけでは市場全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	○
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	○
効率的性	事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業	
	【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】	○
	健康推進、子育て支援等市民の要望が多い。特に食に関する研修は利用率で約70パーセントを締めている	
	財政状況を考慮し、事業を休止した場合は、市民生活への影響が大きい事業	○
	【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】	
	施設算泰の維持管理、設置機械の保守等に「影響が生じ、施設の運営が困難となる	
	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	○
	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高	○
	サービス水準や対象を見直す余地がある。	
	当初設定した計画を 100% 実施している。	【計画に遅れが生じている場合、改善策】
予算の繰越の有無 無		
【予算の繰越がある場合、繰越の種別】		
他の事業主体の活用、事業移管が可能である。		
基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。		
【事業名】		
受益者負担を求めることができる事業である。		
全体コストにおける負担構成は適正である。		
コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。		

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	保健福祉センター内に社会福祉協議会の事務所があり利用も多いため、管理費の負担割合を見直す必要がある。
【状況】	計画のとおり進んでいる
【詳細】	
昨年度の取組状況	昨年度社会福祉協議会からの負担分(光熱水費)を70%から80%に見直しを行った。

今後の方向性(Action)

担当課長氏名	中林 千春
【方向性】	現状維持
【理由】	
事業の方向性	保健福祉事業を総合的に推進し、市民の福祉の増進と健康保持、健康意識の向上を図るための拠点施設として必要である。
現時点における課題、その他	施設の機械設備において経年による著しい劣化が見られる。
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	計画的に予算確保し修繕を行う H22・・・屋根修繕 H23・・・ポンプ系修繕予定